

1) 事業計画

令和6年度事業計画

令和6年度は、引き続き、法人経営の根幹をなす埋蔵文化財発掘調査業務の受託を進めるとともに、埋蔵文化財の保護、活用及び人材の育成、出土遺物の保管、管理、並びに令和5年度から4年間の指定管理者の指定を受けた考古資料館での各種展示及び普及啓発事業をより充実させることにより、公益財団法人としての公共的役割を果たすとともに、収益の確保を図り、健全な経営を目指す。

○公1 埋蔵文化財事業について

1 埋蔵文化財の発掘調査及び資料整理

- (1) 埋蔵文化財の発掘調査の計画及びその施行
京都市：平安京跡、富ノ森城跡、溝路遺跡 他
国：長岡京跡・淀水垂大下津町遺跡
民間：平安京跡 他
- (2) 史跡名勝の復原整備に伴う調査、研究
- (3) 出土遺構、出土遺物等の調査、研究、整備及び保存
- (4) 文献資料図書の整備及び研究

2 埋蔵文化財に関する出版物の刊行及び配布

- (1) 埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行及び配布
- (2) 埋蔵文化財に関する研究報告書の作成及び配布

3 埋蔵文化財に関する技術の研究及び技術者の養成

- (1) 埋蔵文化財の調査技術及び出土品の保存技術に関する研究
- (2) 発掘調査技術者の養成
- (3) 編集技術の研究、修得

4 埋蔵文化財に関する普及啓発

- (1) 発掘調査現地説明会、現地公開、見学会の開催
- (2) 啓発冊子等の刊行、配布
- (3) 写真展の開催
- (4) 区役所との連携による普及事業
- (5) 京都市内の小中学校総合学習や地域活動への協力（出前授業）
- (6) インターシップの実施
- (7) ホームページ、Facebook 等による情報発信
- (8) 埋蔵文化財に関する各種講演会、研究会等への講師派遣協力

5 埋蔵文化財に関する関係機関との連携

- (1) 関係行政機関，全国埋蔵文化財法人連絡協議会，研究機関との連携
- (2) 開発行為者との連絡調整

6 埋蔵文化財出土遺物の保管，管理及び整理（京都市から受託）

- (1) 出土遺物の保管，管理業務
- (2) 出土遺物の整理業務
- (3) 埋蔵文化財出土遺物文化財指定準備業務
- (4) 京北文化遺産センター運営業務

7 史跡・名勝・天然記念物・建造物の管理事業（京都市から受託）

史跡・名勝・天然記念物の巡回管理，及び各地元保存団体と連携し定期的に整備（26箇所）

（名勝雙ヶ岡，史跡天皇の杜古墳，史跡醍醐寺境内（栢杜遺跡），天然記念物深泥池生物群集，史跡御土居（7箇所），史跡方広寺大仏殿及び石塁・石塔，史跡鳥羽殿跡，史跡栗栖野瓦窯跡，史跡平安宮跡（内裏跡，豊楽院跡），史跡樫原廃寺跡，史跡蛇塚古墳，史跡西寺跡，史跡天塚古墳，史跡山科本願寺南殿跡，京都市指定史跡上中城址，京都市指定史跡大枝山古墳群，京都市登録史跡福西遺跡公園，京都市登録建造物島原大門，上ノ山古墳，芝古墳）

8 調査作業業務受託事業

発掘調査以外（保存処理・写真撮影・測量など）の受託事業の実施

9 普及啓発事業

- (1) 文化財講演会の開催（12月）
- (2) 史跡ウォーク・講演会などのイベントを2回予定（西陣歴史のまち協議会等と共催）
- (3) 「関西考古学の日」への参加（7月～11月）

10 事業状況等のインターネットによる開示

定款・事業実績概要・収支決算・事業計画・収支予算・役員名簿など

○公2 京都市考古資料館事業について

1 京都市考古資料館の管理運営事業（指定管理者）

(1) 考古資料の展示及び特別展示等の開催

- ① 常設展示
- ② 令和5年度後期特別展示「紫式部の平安京ー地中からのものがたりー」
(令和6年2月17日～6月23日)
- ③ 令和6年度前期特別展示「(仮) ファッションの考古学ーモード・アクセサリィ・メイク」
(令和6年7月13日(土)～11月24日(日))【予定】
- ④ 合同企画展「未定」 参加大学募集中
(令和6年12月中旬～令和7年1月下旬)
- ⑤ 令和6年度後期特別展示「(仮) 食文化の考古学」
(令和7年2月中旬～6月中旬)
- ⑥ 速報展・企画陳列
「(仮) 公家町遺跡出土の賢瓶」(4～5月)、「(仮) 墨書土器(漢字)」(6～7月)等

(2) 考古資料に関する普及啓発事業の実施

- ① 小・中学生夏期教室の開催(8月)、小・中学生発掘体験(11月)
- ② 京都市考古資料館文化財講座(アスニー京都学講座)の開催(年8回実施)
- ③ 考古資料の貸出し
- ④ 博物館学芸員実習の受入れ
- ⑤ 京都市立中学生「生き方探究・チャレンジ体験」事業の受入れ
- ⑥ 修学旅行生「発掘体験」事業
- ⑦ 教育機関の学外授業等の受入れ
- ⑧ 生涯学習グループなどの見学受入れ、解説
- ⑨ 考古資料館展示解説ボランティアの育成・研修

(3) 考古資料に関する関係機関との連携強化

加盟している京都市博物館施設連絡協議会などへ引き続き参加し、博物館運営の情報収集に努めるほか、京都市教育委員会の学校教育や生涯学習などの関係機関と連携、協力

(4) その他

- ① 収益化事業の取組
 - ア 指定管理業務
特別展示パンフレットの有償配布、文化財ボックス等委託販売
 - イ 独自事業
特別展示有料展示解説、記念講演会、遺跡見て歩き、収蔵庫バックヤードツアー等
- ② 情報発信の強化
ホームページ、SNS (Facebook、X (Twitter)) による情報発信